

**2015年度経済同友会アフリカ委員会提言**  
**TICADプロセスの進化により、アフリカのパートナーとしての日本の存在感の可視化を**  
**～アフリカの持続的な成長に向けた多様なニーズに応えるための10の提言～**

**1. はじめに [ P 1 ]**

- 「援助から貿易・投資へ」という方針転換を掲げたTICAD V（2013年6月）から3年が経過、2016年8月に、初めてアフリカにおいてTICAD が開催される。
- この3年間に、アフリカ各国もアフリカを巡る環境も大きく変化。TICAD VIにおいて、TICADの意義と日本のリーダーシップをアピールし、日・アフリカ関係強化につながる成果創出に取り組むべき。

**2. 基本的な問題意識：アフリカの変化と日本の役割 [ P 2～4 ]**

「アフリカの変化（2013～2015）」

「日本の対応」

(1) アフリカの成長における ボトルネック	(2) アフリカの長期成長ビジョンと 優先順位	(3) 日本の民間企業の進出による アフリカ開発への貢献
<ul style="list-style-type: none"> <li>資源価格の下落に伴う成長の鈍化</li> <li>資源・一次産品依存、輸入品依存の産業・貿易構造</li> <li>インフラ、市場機能の未整備</li> <li>54の多様で分断された国々</li> <li>…等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフリカ自身のオーナーシップの発揮（「アジェンダ2063」策定）</li> <li>民間セクター育成、産業の多角化・高度化、雇用創出…という優先順位の明確化</li> <li>地域経済統合、広域連携の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「最後のフロンティア」であるアフリカの支援、関係強化</li> <li>国連で策定された持続可能な開発目標（SDGs）への貢献</li> <li>アフリカのニーズ＝日本の民間への期待に応える</li> </ul>

**3. アフリカの持続可能な成長に向けた多様なニーズに応えるための10の提言 [ P 4～ ]**

- TICAD VIでは、TICAD V以降・3年間の変化を適確に把握し、それに応じてTICADプロセスの進化を示す
- 従来のアフリカに対する個々の取り組みを結び付け、日本のコミットメントの「可視化」を

**(1) TICAD VIで「オールジャパン」としてアフリカへの関与を示す**

- アフリカ諸国の核心的ニーズ（民間投資の拡大）に応えるため、TICAD VIに、多様な民間セクターを巻き込む
- 本会合での日・アフリカの民間企業経営者と各国首脳による対話、日本と第三国、国際機関等との多国間連携の可能性の検討

**(2) TICADを成果を生み出し、アフリカを支えるプラットフォームに**

- TICAD開催サイクルの変更（5年→3年）に伴い、以降、各回のTICADで具体的な成果を創出するため、複線的な目標設定を
- TICADフォローアップ・プロセスに民間を巻き込み、官民による情報交換・対話の場の常設化を

**(3) 日本の企業群のアフリカ進出を促すための仕掛け作り**

- 産業、セクター、企業規模別に、官民連携でプロジェクト創出をするための場づくりを：アフリカの社会課題を切り口に、関連企業群と省庁のパートナーシップで、共同研究、シーズ発掘に取り組む

**(4) TICAD VIを契機とした、国内外に向けた広報・発信力の強化を**

- 国内外のメディアへの積極的な働きかけを通じて、アフリカにおけるTICADの認知度を高める
- 国内向けの広報・情報発信を強化し、官民連携の機運醸成、国内企業の連携を高める

**(5) 人材育成への一層の貢献と、アフリカ人材の戦略的活用**

- ABEイニシアティブのレビューを踏まえた拡大・継続、産業ニーズに応じた複線化
- 日本が実施する人材育成プログラムにおけるアフリカの位置づけの見直し、TICADでのプログラム横断的な検証、他

**(6) 日本の支援策とアフリカ各国の成長戦略の連携**

- 戦略的マスタープラン等、日本のアフリカ支援と各国産業政策の連携強化、「沿線」における産業集積の育成

**(7) 地域経済統合の促進支援と、多層的な関係構築**

- 地域経済共同体（RECs）への人材派遣等、政策対話の一層の促進による、情報収集能力の強化とRECsの機能強化支援

**(8) 開発協力に関する公的機関と民間企業の連携の強化**

- JICA、JBIC等、開発に関する諸機関による民間支援の見直し（早期のプロジェクトリスト共有、資金スキームの迅速化等）

**(9) 投資環境整備、経済連携強化に向けた政府間対話**

- 重点国との投資協定交渉の加速、RECsや主要国との経済連携協定締結に向けた検討の開始

**(10) セクターを越えた連携を創出する「拠点」の展開**

- 大学によるアフリカでの研究拠点のネットワーク化、人材育成・科学技術協力、産官学連携の拠点として活用